

## 岩手県循環器病対策推進計画（素案）の概要

### 計画の趣旨

脳卒中、心臓病その他の循環器病（以下「循環器病」という。）が主要な死亡原因であることに鑑み、循環器病対策を総合的かつ計画的に推進するため、「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法」（以下「基本法」という。）が制定された。

基本法に基づき、本県の循環器病を取り巻く実情に即した「岩手県循環器病対策推進計画」を策定し、関係機関との連携・協働により、循環器病対策を推進する。

### 計画の位置づけ

- 基本法第 11 条第 1 項の規定による法定計画
- 国の「循環器病対策推進基本計画」を基本とし、「岩手県保健医療計画」、「いわていきいきプラン」、「健康いわて 21 プラン」、「疾病者の搬送及び受入れの実施に関する基準」等の関連施策との整合を図り、本県の循環器病対策の基本的な方向性を定める
- 計画期間：令和 4（2022）年度から令和 5（2023）年度まで（令和 6（2024）年度からの次期岩手県保健医療計画との調和を図る）

### 現状・課題

#### 〔健康寿命〕

本県の平成 28 年の健康寿命（日常生活に制限のない期間）は、男性が 71.85 年（全国 72.14 年）、女性が 74.46 年（全国 74.79 年）であり、いずれも全国を下回っている

#### 〔死亡率〕

循環器病は、がんに次ぐ死亡原因であり、死亡率は全国でもワースト上位

本県の死因別死亡率（人口10万人対）と全国順位

死 因	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
悪性新生物（がん）	360.3	8位	366.8	8位	380.2	4位
循環器病	237.3	5位	238.1	4位	226.6	5位
心疾患	161.2	1位	159.1	2位	155.7	1位

人口動態統計（厚生労働省） 令和2年度は概数

#### 基本方針

##### 1 予防や正しい知識の普及啓発の推進

回復期及び慢性期にも再発や増悪を来たしやすいといった循環器病の疾患上の特徴を踏まえ、循環器病の発症予防及び合併症の発症や症状の進展等の重症化予防に重点を置いた対策を推進

##### 2 保健、医療及び福祉に係るサービス提供体制の充実

急性期には発症後早期に適切な診療を開始する必要があるという循環器病の特徴を踏まえ、予防から救護、急性期、回復期、再発予防まで継続したサービス提供体制の充実

### 分野別施策

#### 1 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発の推進

##### （1）循環器病の1次予防

⇒ ○生活習慣改善の情報提供、環境整備、■健康経営の促進、認証制度などインセンティブとなる取組の強化

##### （2）循環器病の2次予防

⇒ ○特定健康検査受診率及び特定保健指導実施率の向上、■市町村及び医師会等関係機関との連携強化による糖尿病性腎症重症化予防対策の促進

#### 2 保健、医療及び福祉に係るサービス提供体制の充実

##### （1）救急搬送体制の整備

⇒ ○医療機関と消防機関の連携によるメディカルコントロール体制の充実、○12 誘導心電図伝送システムの普及

##### （2）循環器病医療提供体制の整備

⇒ ○専門的治療を担う医療機関の機能充実と医療連携体制整備、○多職種連携による疾病管理の取組の促進

##### （3）地域社会における循環器病患者の支援

⇒ ○在宅医療・介護の連携推進、○市町村による地域包括ケアのまちづくり支援

##### （4）循環器病患者向けのリハビリテーションの充実

⇒ ○地域連携クリティカルパス導入による医療機関等連携体制の構築、○多職種連携による疾病管理の促進

##### （5）相談支援及び情報提供

⇒ ■医療機関、関係団体等の連携による相談体制と提供情報の充実

##### （6）循環器病患者向けの緩和ケアの提供

⇒ ■多職種チームによる緩和ケア、関係機関連携の促進、■研修会等による質の向上と提供体制の充実

##### （7）循環器病患者の治療と仕事の両立支援、就労支援の促進

⇒ ■治療と仕事の両立に関する支援体制の充実、■患者・家族・事業所等の理解促進

##### （8）小児・若年者に対する循環器病対策

⇒ ■学校健康診断等での循環器病の早期発見と適切な治療の推進、■小児期から成人期かけて必要な医療を切れ目なく行う移行期医療の支援体制整備の推進

- 保健医療計画と共通の取組事項  
■ 新たに追加する取組事項

### 推進体制

- 岩手県循環器病対策推進協議会においてロジックモデルにより進捗管理、幅広い主体の参画と連携・協働により実効性の高い施策を推進
- 新型コロナウイルス感染症による影響（運動不足、受診控え等）を踏まえ、生活習慣の改善や早期受診の普及啓発等の対策に関係機関が連携して取り組む

### 全体目標

#### 1 健康寿命の延伸

項 目		現状値	目標値 (R5)	
健康寿命の延伸	男性	㉔ 1.52		
	女性	㉔ 1.74		

項 目		現状値	目標値 (R5)	
(参考) 健康寿命	男性	㉔71.85		
	女性	㉔74.46		
(参考) 平均寿命	男性	㉔79.86		
	女性	㉔86.44		

出典：厚生労働省（都道府県別生命表、厚生労働科学研究）

#### 2 循環器病の年齢調整死亡率の低減

項 目			現状値	目標値 (R5)
年齢調整死亡率 (人口 10 万対)	脳血管疾患	男性	㉔ 51.8	
		女性	㉔ 29.3	
	心疾患	男性	㉔ 80.5	
		女性	㉔ 37.9	

出典：厚生労働省（人口動態統計特殊報告）

#### 〔参考〕

目標項目：国基本計画、健康いわて 21 プランと同一

目標値：健康いわて 21 プランと同一

- ・コロナウイルスの影響により、次期プラン策定に用いる国民健康・栄養調査等が R3 に延期されたため、現プランの終了年度は 1 年延伸（R4⇒R5）となる見込
- ・国基本計画の目標値：2040 年までに（2016 年比）3 年以上の健康寿命の延伸（健康寿命延伸プラン R 元厚生労働省 2040 を展望した社会保障・働き方改革本部）